

# 一般質問



## 安心できるまち、 サッカーのできるまちを

誠心会 ● 上野 顕介 議員

**聴覚障がい者が使用できるAED設置について**

**問** 湖南市の公共施設などで設置されているAED(自動体外式除細動器)は、いざという時の取扱い説明が音声案内だけで、聴覚障がい者が使用できません。文字やイラストなどを付いた取扱い説明の機器に入れ替えて誰もが使えるようにするべきではないか。

**答** 誰にでも取扱いの説明がわかりやすいといった安全面のメリットを考慮して、現在設置しているAEDの耐用年数による入れ替えの時期には、聴覚障がいのあるかたが使える機器に入れ替えていくように取り組めます。

**サッカーのできる芝生環境について**

**問** サッカー競技を行うことのできる芝生環境を整備してはどう

か。現状の野洲川運動公園は、サッカーには芝生環境が十分ではない。この近隣には、サッカー場を整備して社会人やスポーツ少年団などに開放している民間企業もあり、こういった企業と連携し、野洲川運動公園を上手に活用してはどうか。

**答** 湖南市では、湖南市民グラウンドと野洲川運動公園において芝生環境がありますが、ティフトン芝などの整備について真剣に検討していきます。



野洲川運動公園サッカー場

## どうなん!? 被災時の初動と防災拠点!!



無所属の会 市民の力 ● あわづ 寛三 議員

**市職員の初動体制**

**問** 風水害等災害時は、

**答** 警報発表時に警戒体制。危機管理局の指示で指定されている職員が各種情報収集・監視・河川警戒を行います。横田橋の水位により災害警戒本部体制・災害対策本部体制と移行します。

**問** 大地震の場合は、

**答** 震度5弱から災害警戒本部体制となり危機管理局と各局局主幹以上の職員が自主参集、被害の状況確認と連絡調整業務などを実施し迅速対応を図ります。震度6以上で災害対策本部体制となり全職員が自主参集し被害情報の収集や避難所の開設と関係機関へ要請などを行いません。

**懸念される南海トラフ大地震に向けての対策や準備**

**問** 巨大地震を鑑み災

害対策本部となる庁舎の安全性について。

**答** 東西庁舎は築40年を経過し旧耐震基準で建物倒壊の危険性があります。

**問** 倒壊が危惧される庁舎で現在職員は通常の勤務をしている。有事の際には災害対策本部が置かれ防災拠点となる訳だが心もとない。現在の準備状況は。

**答** 庁舎建設及び周辺整備基本計画の作成中で、防災拠点となる庁舎整備については、タウンミーティングを実施し、広く市民に理解を得られるよう説明をします。



旧給食センター

空地